

15. 多文化共生について（問43～問44）

問43 豊橋市には約1万9千人の外国人市民が共に暮らしています。お住まいの地区に外国人市民が増加することをどう感じますか。（複数回答：n=2,483）

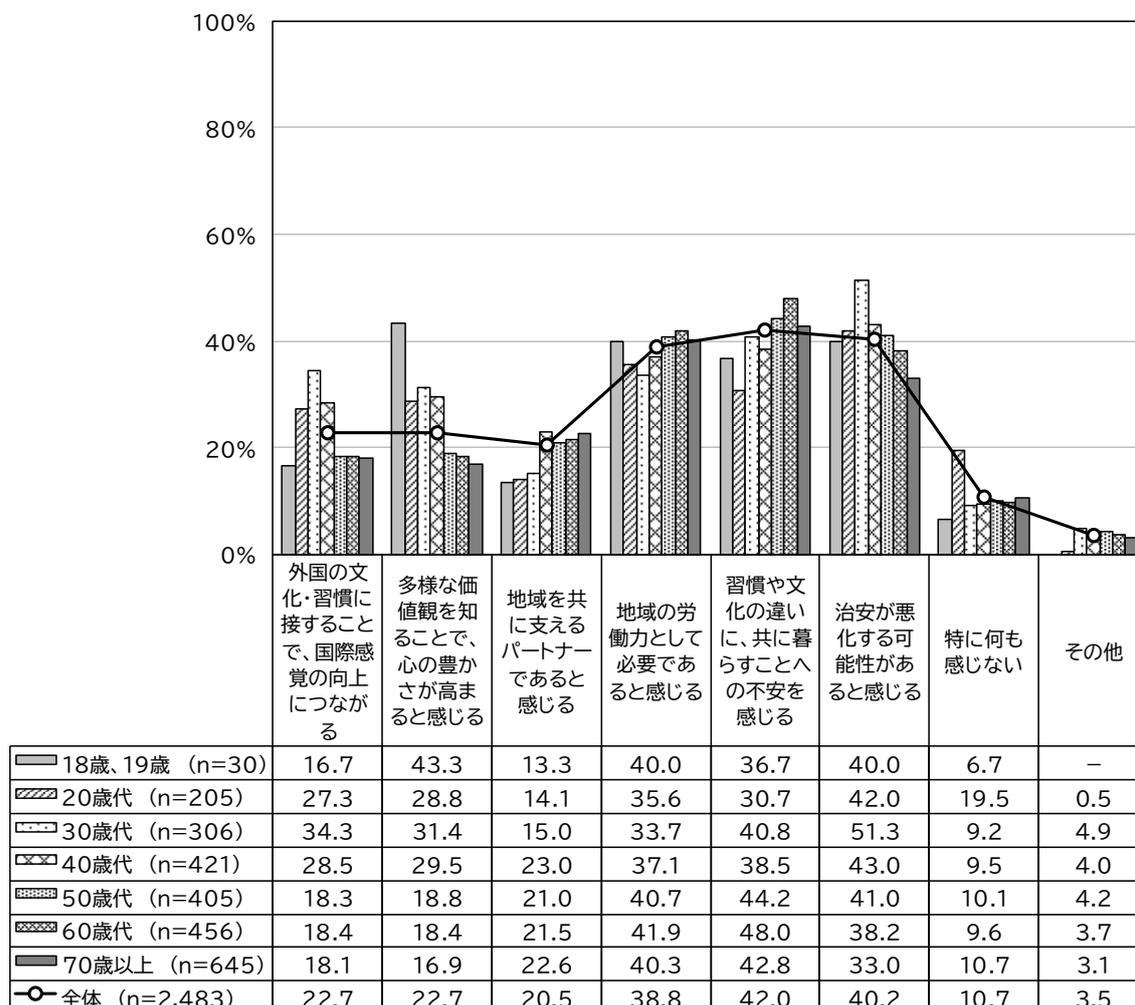
（1）全体的傾向

「習慣や文化の違いに、共に暮らすことへの不安を感じる」と回答した人の割合が42.0%と最も高く、次いで「治安が悪化する可能性があると感じる」（40.2%）、「地域の労働力として必要であると感じる」（38.8%）と続いている。

（2）年代別にみた特性

20歳代から40歳代は、「治安が悪化する可能性があると感じる」と回答した人の割合が最も高く、42.0%～51.3%となっている。

また、50歳代以上は、「習慣や文化の違いに、共に暮らすことへの不安を感じる」と回答した人の割合が最も高く、42.8%～48.0%となっており、18歳、19歳は、「多様な価値観を知ること、心の豊かさが高まると感じる」と回答した人の割合が43.3%と他の年代と比べ高くなっている。



問44 外国人市民と共に暮らしやすい社会にしていくためには、どのような取り組みが必要だと思いますか。（複数回答：n=2,423）

（1）全体的傾向

「日本の生活ルールや習慣、文化の違いについての周知」と回答した人の割合が79.3%と最も高く、次いで「外国人市民のための相談体制の充実や、多言語での情報提供」（54.1%）、「外国人市民への日本語の学習機会の提供、外国人市民の児童・生徒の教育の充実」（45.9%）と続いている。

（2）年代別にみた特性

すべての年代で、「日本の生活ルールや習慣、文化の違いについての周知」と回答した人の割合が最も高く、72.1%～84.2%と7割を超えている。

また、70歳以上は、「外国人市民が地域社会へ積極的に参加できるような機会の提供（防災訓練など）」と回答した人の割合が49.6%と他の年代と比べ高くなっている。

